



はやま議会だより



葉山町総合防災訓練 @ 一色小学校
2024.10.20

葉山町議会



令和
5年度

決算を認定

注目のトピック

光熱水費の 不用額

想定より光熱水
費が高騰せず、
約1億円の
不用額が発生



葉山灯台の 改修工事

- 灯台の
維持管理費
68万円
- 灯標改修工事
901万円



子ども 医療費助成

- 助成総額は
1億3744万円
- 医療費助成を
18歳まで拡充



ゼロ・ウェイスト 推進

粗大ごみシールの
**LINEオンライン
決済**の利用が増加



住宅リフォーム 資金助成

想定を上回る
121件の
申請



中学校給食 スタート!

上山口小給食
調理室を改修し、
**親子方式で
開始**



持続可能な町づくりのために

課題とした事業

里山の魅力 創造事業

**秘密基地
プロジェクト**の
運営方法に課題



住宅耐震の 推進

- 旧耐震の家
屋が今なお
4463戸
- ブロック塀
の撤去も進
まず



野生イノシシの 捕獲

- 鳥獣被害対策
実施隊員の
**高齢化、
人員不足**
- 生息数、範囲の
拡大の懸念



養育支援 短期入所事業

ショートステイ、
トワイライトの
利用が**1家庭**
にとどまる



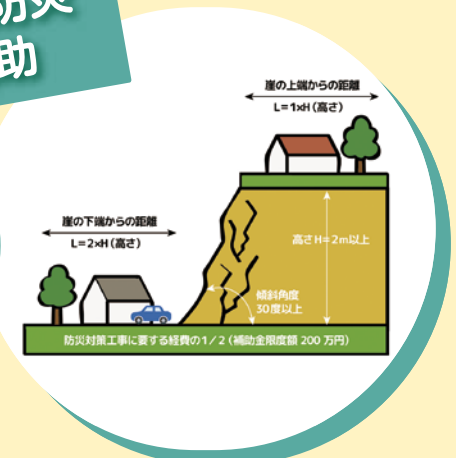
合併処理浄化槽の 整備

600件以上の
整備が未完了



がけ地防災 対策補助

対象工事**0件**、
利用実績なし



防災

#防災協定 #住宅耐震
#ハザードマップ #避難計画

荒井 那須町との防災協定は締結されているが、下田市とは進んでいるか。

答 令和5年3月に締結した。担当者同士で意見を交わし、機を見て伺いたい。

中村 住宅耐震推進事業の執行率が30%と低い。

答 旧耐震基準の建物が4463戸あり、研究したい。

中村 洪水ハザードマップ浸水区域の危険箇所は改修し、工事費は県に請求できないか。

答 県で対策を講じてもらう。

中村 避難行動要支援者数の推移と個別避難計画の作成状況は。

答 登録者は減少傾向で168人。うち17人作成した。

中村 愛知県阿久比町は人口同規模で、登録者925人だ。積極的に取り組むべきでは。

答 各課と連携し、努力したい。



福祉

#特定健診
#健康増進施設利用券

窪田 特定健診受診率向上策は。

答 会場増等、工夫した。

近藤 健康増進施設利用券の利用可能施設の拡大は。

答 拡大に向け、交渉したい。



財政

#都市計画税 #光熱水費
#不用額 #決算総括

近藤 湘南国際村への都市計画税の課税で、2千万円以上増収になるが、実施すべきでは。

答 市街化調整区域なので難しい。

近藤 実態に則し、市街化区域に編入を県と調整すべきでは。

答 見直しは難しい。

窪田 不用額の町民還元は。

答 還元策を積極的に考え、予算に組み入れたい。

待寺 光熱水費の不用額が約1億円だが。

答 余力を持たせた結果だ。

待寺 教育委員会所管事業でも多額だが、報告は。

答 令和5年9月の電気事業者変更が主要因だ。

待寺 決算審査の町長の総括は。

答 町税収納額が増額し感謝の念を抱いた。町全体の財政状況を精査し、大規模事業の着実な推進と公共施設再編の発信をしていく。



湘南国際村

決算総括質問

議員は
こう見た!!
5人が質問

教育

#学校施設 #給食
#コミュニティスクール

窪田 中学校給食の上山口町内会の懸念事項は。

答 現実に起こっていない。

窪田 学校再編で上山口小給食調理室や長柄小トイレ改修への対応は。

答 基本計画策定後に検討する。

窪田 コミュニティスクールの進展状況は。

答 議論の場が増え、どう深めていくか問われている。

待寺 決算審査の教育長の総括は。

答 「スクールミッション」「スクールポリシー」を作成し、高い評価を受けた。情報管理の安全性も高まった。



綺麗になった葉山中トイレ

生活環境

#下水道 #ヤスデ対策
#アゼシート

窪田 下水接続は私道が課題だが対応は。

答 訪問等している。

荒井 ヤスデ対策として、購入した消耗品の内容は。

答 集塵機3台とアゼシート70セット(1セット20m)購入した。

荒井 町民にアゼシートを配布するのか。

答 配布し実証実験で効果検証したい。その後、補助金制度を検討する。

近藤 多額の維持費を要する葉山灯台に、ネーミングライツを公募しては。

答 検討したい。

近藤 南郷上ノ山公園のテニスコートやドッグランの紙製人工芝導入は。

答 速やかに対策は講じたい。



南郷上ノ山公園テニスコート

町長・教育長への質問



葉山の魅力
創成・発信事業

姉妹都市、
友好都市交流

南郷上ノ山
公園

イノシシ
処理施設

図書館・
博物館

通学路の
見守り

町長質問

Q1

葉山の魅力創成・発信事業の今後の運営の考えは？



議員

A1

現状は、運営側や地主との協議が整っていない。引き続き、山の魅力の発信・創出ができるように支援していきたい。



町長



Q2

姉妹都市、友好都市との交流のあり方は？



議員

A2

草津町民参加の水泳教室や葉山町民参加のスキー教室への参加者が増えず、課題を認識している。改善に向け、アイデアを出していく。



町長

Q3

南郷上ノ山公園の主管課は？



議員



南郷上ノ山公園

A3

都市計画課の所管で技術的な側面をまとめ、また教育委員会で利用者に寄り添った運用を行う現行の体制で継続していく。



町長

Q4

イノシシ捕獲後の処理施設の整備は？



議員

A4

将来的に拠点は必要だが、課題も多く引き続き検討が必要な状況だ。



町長

教育長質問

Q1

図書館長の配置及びしおさい博物館の学芸員常駐は？



議員



図書館



しおさい博物館

A1

現状、専任の図書館長は配置されていないが業務は円滑に行われている。また、博物館専任ではないが、生涯学習課に学芸員を配置している。



教育長

Q2

小学校の通学路での見守りを町内会やPTAが実施しているが？



議員

A2

地域や保護者の皆様に過度の負担にならないよう、十分配慮をしながら地域全体で安心・安全な環境を整えていきたい。



教育長

決算特別委員会審査報告

荒井直彦委員長、金崎ひさ副委員長、三浦大輝、笹本貢史、石岡実成、近藤昇一、土佐洋子 各委員による審査結果

一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計及び下水道事業会計は全会一致で、後期高齢者医療特別会計は賛成多数で可決。

指摘

- 生活保護世帯に下水道使用料、浄化槽清掃手数料（減免）の在り方を明確化
- 公用車重大事故の議会報告の徹底
- 的確で厳正な財務処理等の事務執行の遂行
- 専任の図書館長の配置



要望

- 民生委員及び交通指導員の早急な補充
- 必要に応じた町内会館の配置
- しおさい公園休憩所の利活用の明確化
- 友好都市の団体交流助成制度の実現に向けた検討
- 秘密基地プロジェクトのサポート体制の強化
- イノシシ捕獲後の処理施設の整備



令和6年度 本会議での決算審議の結果

近藤昇一、土佐洋子、待寺真司の各議員が討論を行いました。

主な討論内容

一般会計

- 湘南国際村の市街化区域編入の県への要請を。
- 議場昇降機付け替えは、ランクが下がり残念だ。
- 町のプール建設の進捗が見えない。
- 地球温暖化対策の区域施策編の作成は評価する。
- 住宅リフォーム助成を店舗まで拡充してほしい。
- 中学校給食開始の評価、更なる学校給食の充実と環境への配慮、保育園での導入の検討を。
- 18歳までの子ども医療費無料化を評価する。
- 契約事務処理における業務改善を強く求める。
- 投票用紙記名補助具、候補者名の白黒反転など、視覚障害への配慮を高く評価する。
- クリーンセンター焼却炉の解体は良かった。
- 水泳授業の在り方の検討を望む。
- 町内会館の充実と堀内会館の早期更新を望む。
- *マイナ救急、民間救急の周知強化を望む。
- イノシシの根絶のための環境整備を望む。

*マイナ救急=マイナンバーカードを活用した救急業務

後期高齢者医療特別会計

- 75歳以上の窓口負担の2倍化は認められない。

介護保険特別会計

- 保険給付費の執行率(99.5%)を高く評価する。
- 保険料がこれ以上負担にならないように要望する。
- 介護事業への更なる支援を望む。

下水道事業会計

- 運営・経営面共に順調であることを高く評価する。
- 私道への積極的な敷設と全面復旧措置の検討を。

認定

◎一般会計	全会一致
◎国民健康保険特別会計	全会一致
◎後期高齢者医療特別会計	賛成多数
◎介護保険特別会計	全会一致
◎下水道事業会計	全会一致

国民健康保険特別会計

- 保険料の負担が増えてしまっている。
- 一般会計からの繰り入れ増額を評価する。

きょうあい ごみ収集の軽車両コース(狭隘道路)を 民間委託へ

歳出

ごみ収集事業(令和7年3月分のみ)

332万円

Q:一者入札になるのは望ましくないが。

A:適切な入札が行われるよう努める。

Q:これまでは直営だった。委託に不安があるが。

A:町職員の同行研修や、町民に笑顔で接してもらえるよう配慮する。

Q:生ごみ回収は週2回とのことだが、将来的に自家処理にするという考えはあるか。

A:分別回収と自家処理を同時に進めながら生ごみ回収回数を減らしていくことを目指していく。

Q:新しく導入する収集車にEV、ハイブリッド車を検討したか。

A:低公害車は納車時期、災害時の対応、パワーの問題から選択できなかった。

反対討論

●燃やすごみ収集の週1回に反対する。オムツ収集の問題も残っている。

賛成討論

●環境負荷の点からも、燃やすごみ週1回は妥当だ。

●逗子市との共同事業で、遅らせることはできない。

●生ごみ1回、燃やすごみ1回の先進事例に学ぶべき

●紙おむつ、ペットの糞の臭気対策を早期に進めてほしい

三浦

土佐

近藤



第3回
定例会
9月4日～
10月10日

令和5年度決算、令和6年度補正予算、 条例、陳情書の審議

可決

葉山町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

医療費助成事務において

利用できる特定個人情報を追加するため

Q:情報漏洩が心配だ。

A:個人情報の保護に関しては十分意識を持ちながら事務を行っていく。

反対討論

●個人情報保護と安全管理処置への懸念が深まるもとで適用を拡大することに反対だ。



近藤

可決

葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法の改正に伴う改正

被保険者証の返還に関する罰則規定を削除

認知症等により本人の判断能力が不十分かつ身寄りの有無が判別できない方の国民健康保険料の徴収猶予を最長1年に

Q:今まで出していた資格証は。

A:葉山では保険料滞納による資格証明書対象者はゼロだ。今後はマイナンバーカードもしくは資格確認証に必要事項を記載するように変わる。

可決

葉山町デマンド型
乗合タクシーの
実証運行に関する条例

デマンド型乗合タクシーの
運行区域、使用料、
制限事項等について定める

Q:この条例は実証運行の令和6年10月
から令和7年1月31日のみ有効か。

A:実証運行後、精査が終了したら廃止になる。



歳入 地方交付税等

地方交付税 (1366万円)
臨時財政対策債 (▲4190万円)
基金積立金 (7億7283万円)

Q: 財政調整基金に3億円、公共施設に4億7千万円積み増した理由は。

A: 公共公益重視で、老朽化した公共施設の更新の経費に割り振った。

歳出 鳥獣保護管理対策事業 486万円

当初見込みを上回った外来鳥獣及びイノシシの捕獲に係る業務委託料等

Q: 捕獲後に処理する拠点の要望があったが対応は。

A: 課題だと認識している。

Q: 他自治体では生ごみ資源化施設で処理しているが。

A: 技術的には可能と思うが、申請内容等再度検討した上で町として見解を固める。

**歳出 ゼロ・ウェイスト推進事業 120万円**

家庭用生ごみ処理機購入費補助金

Q: 生ごみ削減目標として「年150機を販売し燃やすごみを約4t減らす」というのは電動生ごみ処理機だけか。

A: キュウ一口も含めて150機が目標だ。

**歳出 町制施行100周年記念事業 34万円**

町制100周年の周知と葉山町のPRのため京浜急行の車両内に掲示するポスター制作

Q: 12月22日から1月19日の間、京浜急行電鉄のハッピートレインは毎日どこで走るのか。

A: 黄色い車両編成の全車両に葉山町の広告を掲載する。年末年始は京急逗子線に乗り入れ予定だ。毎日かどうかはわからない。

**歳出 臨御橋架け替えプロジェクト推進事業 4419万円**

補修補強に係る予備設計及び詳細設計業務

Q: 何社に見積もりを取ったのか。

A: 何社かに実現可能か確認したが、入札は1社のみだった。予定価格が外部に漏れることはない。

**歳出 小中学校情報教育推進事業 960万円**

小中学校に配付しているタブレットの修繕料
1台当たり6万円×160台

Q: 小中学校のタブレット破損の原因は。

A: 令和3年から使用している端末の経年劣化に画面の不具合だ。

**歳出 地球温暖化対策事業 75万円**

再生可能エネルギーシステム等設置補助金

Q: この事業が目指すものは。

A: 2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指す。

Q: 太陽光パネルについての目標値も組み込まれているか。

A: 事業計画としては模索中だ。太陽光の技術の進歩を踏まえ、地球温暖化対策に寄与していきたい。



討論があった 陳情審査



陳情審査の流れ

本会議で委員会に付託

付託先委員会で審査

本会議で審査結果報告

議決（議決前に討論）

ホテル建設の停止、是正

事業者が町と住民を偽る対応は葉山町まちづくり条例を無視しているので、議会から町に開発事業の停止と是正を勧告するよう求めているもの

委員会

担当課

- ・共同住宅の所有者と事業者との間で齟齬が生じている
- ・町は事業者に改めて住民と協議するよう指導している

委員意見

- ・事業者に強く指導し、ホテルの営業が開始されてからも支障のないようにすべき
- ・事業の停止と是正を議会から求めるには、しっかりとした根拠をもって行うべき

[賛成2:反対4⇒不採択]

賛成討論



金崎



窪田

- 陳情者は証拠を示しており、町長は条例に沿って是正命令を出すべき。
- 事業者側からは証拠の提出がなく、町職員が確認したというだけ。町は見せられた証拠を事業者に求め、議会に提出すべき。

本会議

不採択



- マンション所有者一同から町長等宛てに、今後も虚偽事件申告に係わる交渉事を業者等を行う事はないとあり、拡幅整備に協力する姿勢がないと解釈できる。
- 虚偽の立証に、意図の存在と被害、影響の発生が明確でなく、偽りと断定は難しい。一方の主張のみで判断は下せない。

反対討論



土佐



三浦

現保険証の継続

健康保険証機能を持たせた「マイナ保険証」に一本化される。国民皆保険制度が機能不全に陥りかねず、よって、国に対し現行保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書の提出を求めるもの

委員会

委員意見

- ・現保険証とマイナ保険証の両立を求めるものであり、併用を否定する理由はない。意見書を出す最後のチャンスだ
- ・資格確認書等バックアップもあり、マイナ保険証利用も増えている。DX促進を後押ししたい

[賛成4:反対1⇒採択]

賛成討論



窪田



金崎

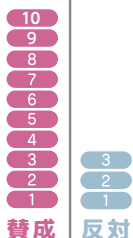


待寺

- マイナンバーカードの取得は任意であるのに、保険証廃止は所持しない人に不利益となる。
- マイナ保険証がよいという意見もあり、選択できるシステムにすべき。
- 介護施設入所者の場合、マイナカード等を施設に預ける。個人情報の流出悪用を防ぐためにも現行の保険証を使うようにしてほしい。

本会議

採 択



- マイナ保険証の利便性を向上させ、不安払しょくのための丁寧な周知を進めていくべき。
- 紙の保険証との併用によるシステムの煩雑化、コストの増加等のデメリットも考慮すべき。
- マイナンバーカードの普及率は8割を超えている。予定通り一本化すべき。

反対討論



星



三浦



笹本

⇒ 国に対し意見書を提出することとしました。

ごみ処理データの開示

ごみ処理に関する基本データ等を議会に開示、また、来期に向け生ごみ資源化処理費等がわかるよう予算・決算体系の見直しを行政に働きかけるよう求めているもの

委員会

担当課

- ・委員会等で一部データを公表している
- ・集団資源回収データは、周知も含めて今後ホームページで公表していく
- ・生ごみ資源化の予算決算体系は、事業立てを変更する方向だ

委員意見

- ・データ全ての開示を求めているものでなく、データを更に議会でも役立てるため、採択をすべき
- ・議員が資料請求をすれば良い

[賛成3:反対2⇒採択]

賛成討論



窪田



金崎



石岡

- 要求データ全てを求めているものではなく、要求は妥当なものである。
- 陳情要求データは決算審査に間に合わないため趣旨了承だが全会一致とならず、採択とした。
- 趣旨了承を主張するが、7年度から始まる生ごみ資源化処理に伴う要望も組み込まれている。

本会議

採 択



- すでに願意は達成されている。
- すべてのデータは公開されている。審議のために本当に必要なものを議員が資料請求すればよい。

反対討論



笹原



星

教育民生常任委員会

委員長 石岡実成

◎令和7年度における『重度障害者医療費助成制度』の継続についての陳情

◎令和7年度における透析治療への通院困難者に対する『通院支援』の継続についての陳情

*審査の効率化をはかるため、2つの陳情を一括審査しました



担当課：重度障害者医療費助成、透析治療への通院費助成共に令和7年度も6年度と同様に継続していく意向が示されました。

委員からは「制度の継続について賛成したい」「昨今の情勢を見据えて、より一層の支援策を検討してほしい」と、全会一致で採択しました。



所管事務調査

◆下水道事業

町民の方から人気が評価の高い「葉山浄化センター見学会」についての報告を受けました。



※好評の見学会の様子と大人気の「うんこドリル」(広報葉山9月号より)

◆学校再整備

「第2回楽校をつくろうワークショップ」の報告と学校再整備における方針の説明を受けました。



※教育委員会から提供された整備方針の資料より抜粋

議会広報常任委員会

委員長 荒井直彦

議会広聴会

※詳細は、23ページをご覧ください。

9月1日(日)に開催を予定していた「町民との会議」は台風の影響で中止にしました。
再度スケジュールを調整し、令和7年2月2日(日)に葉山町教育総合センター(町役場横)にて開催予定です。



議会改革

◆議会公式LINEアカウントの開設

運用面での調整が難しく現時点では見送ることにしました。
当面は、町の公式LINEアカウントを利用させてもらいながら、議会からの情報発信を強化していきたいと思います。

◆議員個々のデジタルリテラシーの向上

現在本会議や委員会審査などで使用中のペーパーレス会議システム「moreNOTE」の研修会を開催することに決定しました。

◆議会白書の作成

作成する目的や使用方法、仕様や体裁など更なる協議、精査が必要との意見で、引き続き継続して話し合いを続ける意向で議会運営委員会に報告しました。



※葉山町公式 LINE



皆様から寄せられた**請願・陳情**の審査

様々な町の**問題・課題**を改善、対策を議論します!!

〔○は可決/採択 ×は否決/不採択 △は趣旨了承〕

総務建設常任委員会

委員長 近藤昇一

◎葉山町デマンド型乗合タクシーの実証運行に関する条例

町内でデマンド型乗合タクシーの実証運行を行うため、道路運送法の規定に基づき、運行区域、使用料、制限事項等についての規定を定め、町が購入した車両(10人乗り)をタクシー会社に運行を委託するための条例案



審査では「交通不便地解消のために実証実験は必要だが、乗降場所の一部に危険な箇所があり安全対策が必要」との意見があり、全会一致で可決しました。

AIオンデマンドとは?

利用者からの予約に応じて、AI(人工知能)が最適な経路を判定して運行します。予約がない乗降ポイントの運行はいたしません。

利用方法: 予約ページ (QRコード), 予約センター (電話番号 0800-170-6600), フリーダイヤル・受付は平日9:00~15:00

運行期間: 2024年10/21~12/6

運行日時: 平日 9:30~14:30

料金: 200円又は300円 (乗降場所により異なります)



※町から提供されたデマンド式乗合いタクシー「はやまるタクシー」リーフレット資料より

※第2地区(下山口・一色地域) 令和6年12月9日~令和7年1月31日

◎町民参加条例(仮称)設定の陳情

葉山町には「パブリックコメント手続きに関する要綱」はあるが、条例がなく条例を制定するよう求めている陳情

担当課: 「パブリックコメント手続きに関する要綱」や「協働のまちづくり指針」に基づき、町民との協働に努めているとの説明。



委員からは「町は広く町民の意見を聞く場を設けているが、改善の余地があり、条例化に向けた調整や検討を求めたい」と、全会一致で趣旨了承しました。

◎議員による職員への政党機関紙の庁舎内勧誘行為の中止を求める陳情書

審査に先立ち、正副委員長による町への聞き取りで「規則により適切に運用されている」との報告がされ、採決の結果賛成なしで不採択としました。



議会運営委員会

議員研修会

町制100周年記念講演会を11月23日に葉山町福祉文化会館で開催します。

基調講演: 気象予報士 森 朗 氏 (TBSテレビひるおび出演)

※詳細は、裏表紙をご覧ください。



委員長 土佐洋子



※実際のPR用チラシ

クリーンセンター再整備に関する特別委員会

委員長 金崎ひさ



※クリーンセンター再整備進捗状況報告より R6.9/30



※サテライトセンター建設工事



※管理棟建設工事

※工事が止まっている
「生ごみ資源化処理施設」

所管事務調査

予定通り、令和7年3月共用開始なるか？

◆再整備進捗状況

生ごみ資源化処理施設建設工事について、基礎工事を受け持つ事業者が見つからず、工事が遅れているとのことで早期解決を求めました。また、資源物棟の建築確認申請は順調に進み現在は消防同意の確認等の対応をしているとのことです。

◆生ごみ分別収集



※広報葉山 No.655 より

- 町民説明会を、11月6日(水)～2月21日(金)までの期間に計68回開催予定です。スケジュールは広報はやま10月号や町内会の回覧等でお知らせするとともに、説明動画を町ホームページに掲載する予定とのことです。
(会場での手話通訳は予約制)

- 民間による収集運搬業務委託契約が完了し、金額は1カ月332万3,320円です。令和7年3月から令和8年9月末までの長期継続契約です。

- 町内33カ所のマンションのごみ集積所に関しては、今後、個別指導と助言を行うとのことです。



総合計画特別委員会

委員長 待寺真司

◆進捗報告及び紙面体裁の説明

7月に実施されたパブリックコメントの内容と対応について説明を受けました。今回は8者15件の意見があり、提案型の意見が多く出ていて、行政運営の参考にするよう申し入れました。

委員会では、第五次葉山町総合計画の素案に対して最後の意見聴取を行い、様々な提案や提言が出されました。

今後は、当委員会の意見を踏まえて、総合計画審議会より町長に答申が提出され、第4回定例会に成案が議案上程される予定です。

そこで、委員会で審議・採決を行い、本会議にて議決される運びとなります。



※第四次総合計画前期・後期の表紙

第 1 回臨時会 表決結果

議案		議員氏名(議席順)												結果	関連記事		
議案第41号	令和6年度葉山町一般会計補正予算（第3号）	三浦大輝	星加代子	笹本貢史	中村和雄	石岡実成	山田由美	金崎ひさ	荒井直彦	笠原俊一	待寺真司	窪田美樹	近藤昇一	土佐洋子	伊東圭介	可決	P7

○は賛成 ×は反対 ※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決します。

第 3 回定例会 表決結果

議案・陳情等		議員氏名(議席順)												三浦	星	笹本	中村	石岡	山田	金崎	荒井	笠原	待寺	窪田	近藤	土佐	伊東	結果	関連記事
議案第47号	令和5年度葉山町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	令和5年度葉山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	令和5年度葉山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	令和5年度葉山町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和5年度葉山町下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	葉山町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第6-24号	現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書提出の陳情	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第6-25号	陳情 ごみ処理基本データの定期開示と生ごみ資源化処理に伴う予算・決算体系の見直し	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第6-28号	トゥモローランド・ホテル建設の開発事業の停止と是正を求める陳情書	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第6-7号	現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 ※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決します。

全会一致の議案等														結果	関連記事
議案第42号	令和6年度葉山町一般会計補正予算(第4号)													可決	P8
議案第43号	令和6年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)													可決	—
議案第44号	令和6年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)													可決	—
議案第45号	令和6年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第1号)													可決	—
議案第46号	令和6年度葉山町下水道事業会計補正予算(第1号)													可決	—
議案第52号	葉山町デマンド型乗合タクシーの実証運行に関する条例													可決	P7
議案第54号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例													可決	P7
議案第55号	葉山町下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例													可決	—
議案第56号	葉山町下水道条例の一部を改正する条例													可決	—
議案第57号	財産の取得について(職員用事務椅子231脚)													可決	—
議案第58号	監査委員の選任について													同意	—
議案第59号	人権擁護委員の推薦について													同意	—
議案第60号	令和6年度葉山町一般会計補正予算(第5号)													可決	P8
議案第61号	令和6年度葉山町一般会計補正予算(第6号)													可決	—
陳情第6-22号	令和7年度における「重度障害者医療費助成制度」の継続についての陳情													採択	P11
陳情第6-23号	令和7年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情													採択	P11
陳情第6-26号	「町民参加条例(仮称)」設定の陳情													趣旨了承	P10
陳情第6-27号	議員による職員への政党機関紙の庁舎内勧誘行為の中止を求める陳情書													不採択	P10



重要文化財	学校給食	燃やすごみ収集	災害時の避難	バリアフリービーチ	開発問題	人口減少下の行政	無電柱化計画	開発許可	障害者差別法	交通安全対策	クリーンセンター再整備
P.14	P.14	P.16	P.16	P.16	P.18	P.18	P.18	P.20	P.20	P.20	P.22



町政を問う

一般質問



皆さんはどのテーマに関心がありますか？

一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。
掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。
会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。
また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。

荒井直彦



葉山町指定重要文化財は65個あるが、町ホームページの情報を見やすくしては

教育部長
教育委員会で詰めていく

問 葉山町指定重要文化財は65個あるが、町のホームページの情報発信の方法を見やすく改修してはどうか。
教育部長 写真等解説が記載された文化財以外に関しても、より詳しく情報を提供できるか、教育委員会で詰めていく。
問 文化財の標柱の管理は、誰がすることになっているのか。
教育部長 文化財全般の話として、原則として所有者管理という形になっており、その所有者の負担軽減・保全管理のため、奨励金という形で支援している。
問 標柱の維持管理についても見直しては。たとえば、山火事防止看板の管理と同様、毎年、標柱の写真を撮って状況確認するなど。

石岡実成



学校給食の残食率が高いのは、時間的余裕がないからでは

教育部長
中学校が少し短い認識はある

問 学校給食の残食率が高いのは、時間的な余裕がないからでは。
教育部長 現在、小学校が40分、中学校が30分だが、生徒アンケートでも時間が短すぎるとの回答があった。
問 必要に応じた改善をお願いしたいが。
教育部長 引き続き調査の上、協議していく。
問 米飯とおかずの質やバランス、提供される量にも課題があるのでは。
教育部長 少なからず様々な要因が関係しているとは認識しているが、中学校給食に関しては、始まったばかりなので、栄養士、調理師とも連携し、充実した給食が提供できるように鋭意努力を重ねていく。
問 一食当たりの賄材料費不足が、提供されるメニューに影響しているのでは。
教育部長 物価高騰のおおもりもあり、厳しい状況に変わりはない。今後、必要に応じた協議と変更を含む検討が必要だ。
問 場合によっては、町側の支援も関係してくると思うが、その想いや覚悟は。
町長 単なるカロリー摂取の時間ではなく、楽しく有意義な食事の時間にしてほしい。責任をもってその価値を高める協議を、保護者の方も含めてしていきたいと思っている。

神奈川県学校給食会からの離脱

問 エシカル給食や環境に配慮した葉山らしい学校給食を進める上で、学校給食会からの離脱を視野に入れるべきでは。
教育部長 全くデメリットがない訳ではなく、今まで果たしてきた歴史的な大きな役割と、様々な課題など、総合的に判断する時期には来ていると思う。

その他の質問
中高生議会の報告



長運寺の標柱



「学校給食残食率について」の自作資料

三浦大輝

「燃やすごみ収集、週2回は過剰サービス」と答弁したが

町長
合計週4回の収集体制は不合理だ

問 燃やすごみ収集週1回体制は、置き場や保管容器、臭気の問題など、不安の声があるが。
環境部長 問題解決をして進めていきたい。
問 対策案なきまま週1回体制を開始するが。
環境部長 令和7年1、2月に試行を行う。
問 実質収支比率から健全財政支出の範囲で現行の燃やすごみ週2回収集が維持できるが。
環境部長 サービス過剰になってはいけない。
問 町長は臨時会で「燃やすごみ収集、週2回は過剰サービス」と答弁したが、背景は。
町長 生ごみ週2回、燃やすごみ週2回、合計週4回の収集体制は不合理と考える。
問 町民の利便性や生活目線であるべきでは。
環境部長 参考にする。

奥葉山（里山）地域



「地域まるごとホテル@三浦半島」をまとめた自作資料

問 「地域まるごとホテル@三浦半島」という先進的な取り組みを県が開始するが、認識は。
政策財政部長 三浦半島一体となり取り組む。
問 町民に負担をかけない財源確保手段として、観光客向けに、宿泊税を導入しては。
総務部長 今後、検討していく価値はある。
子育て環境
問 子育てアンケート調査結果では、気軽に託児利用できる場所がないという声が多いが。
福祉部長 一時預かりサービスをなるべく増やせるように、これから計画を策定していく。
問 他自治体の一時預かり施設では1日最大料金の設定があるが、当町にない理由は。
福祉部長 今後、研究課題としていく。

第五次総合計画

問 行政最上位計画策定に向け、人口減少社会にどう対応するか、考えや覚悟はあるか。
町長 第一義的には、町の福祉的要素について十分なサービスを維持していくことだ。

山田由美

危険が予測される開発に警告は

都市経済部長
町でも行政指導を行う

問 一色平松など、危険が予測される開発については、事業者に強く警告するべきではないか。災害が起きた時、町の責任も問われるのではないか。
都市経済部長 県が法に基づき審査をするが、町でも行政指導を行う。
問 まちづくり条例の「ただし書き」の運用について、基準を明確にし、明文化するべきではないか。
都市経済部長 昨今の開発行為に際し、町民に心配をかけた部分があるかもしれない。今後はそうしたことがないよう、しっかりと条例を運用したい。
問 飛び地の緑地率については、それぞれの場所でカウントするべきではないか。



一色平松の開発予定地

環境部長 事業者に配慮を求めたい。
災害時の避難
問 避難所への移動が困難な方が増えるので、自宅をシェルター化する方向で、町民に呼びかけをしてはどうか。
都市経済部長 自宅の耐震化を啓発する。
問 家全体の耐震化は高額だが、防災ベッドや一部屋だけ補強する耐震シェルターもある。購入補助をしてはどうか。
総務部長 研究していく。
問 小中学校再編に向け、停電しても避難所として機能するよう建設してほしいが。
教育部長 防災の視点でも検討していく。
終活サポート
問 今後、親しい身内がいない状況で亡くなる方が増える。死後の事務を民間に委ねるとしても、国が制度を整備するまで、町が中継役を務めるべきではないか。
福祉部長 前向きに研究している。

星加代子

バリアフリービーチの設置・維持管理の支援を

都市経済部長
令和7年度以降も継続できるよう協力したい

問 ボランテアの方々、車椅子やベビーカーでも砂浜を歩きやすいように、砂浜にマットを設置・維持管理を行った。この活動を、町としても後押ししてほしいが。
都市経済部長 令和4年度から一色海岸にて海水浴場開設期間中にマットを設置した実績がある。7年度以降も、継続できるように協力していきたい。
熱中症対策
問 この夏、統計史上最高の暑さだった。小中学校で夏の体育館授業はどのように行ったか。
教育部長 国や県のガイドラインに即し、激しい運動を控え、31℃を超える環境では体育等を控えた。また、こまめに休憩を取る、水分を摂るということを徹底した。



一色海水浴場のバリアフリービーチ活動

南郷上ノ山公園の利用時間
問 9月1日になると4時半に公園が閉まる。昨今、4時台ではまだ暑くて外出を控えている方もいるため、利用時間を延長してはどうか。
教育部長 防犯、安全面を考慮し、管理事務所や利用者の声を聞いて検討していく。
ペットの飼い主向けイベント
問 猫の飼い主向けのイベント予定の進捗は。
環境部長 令和5年は犬の飼い主向けに開催した。猫の飼い主向けの意見交換・学びあう会は12月もしくは1月頃に予定している。
問 ペットの防災について、飼い主は高い関心がある。総合防災訓練でペット防災のブースがあるので、積極的な告知をしては。
総務部長 ペットを連れて参加できることをホームページ等で広報していく。
その他の質問 郵便投票制度、投票時の移動支援、児童館での給水状況

近藤昇一



町民からの公開質問状に
なぜ答えないのか

町長 経緯を踏まえて等しく公平に
適切な対応を心がけている

問 堀内のホテル・マンション建設において、まちづくり条例が求める取付道路を6mに拡幅されないのに、なぜ同意したのか。

町長 拡幅整備に協力いただけないと判断した。

問 6mの根拠は住民の安全のためだが、3mに満たない場所がある。

町長 一方通行出口のため、取付道路とは考えていなかった。事業者が拡幅に努めるよう依頼したい。

問 事業者が道路拡幅のために住民と協議した記録に虚偽があったと町民は訴えているが、確認したのか。

町長 議事録は承知している。町は真偽を明らかにするものを持っていない。改めて事業

中村和雄



地域の力を強めるため
町内会館の整備を

町長 町内会館は大事だ
慎重に議論していく

問 2040年には1100万人の労働者が不足し、介護・保育は崩壊するという報告がある。行政の力の減退が予測される中、支え合える地域にすることが必要と思うが、どうか。

町長 葉山は、他自治体に比べて耐えられるところがあるが、どこまで適応できるか。AIやロボットの活用、地域での課題解決、意識改革が必要になる。

問 今後、町の財源も職員も減少していく中、地域の力を強める必要がある。そのためには町内会館が必要だ。体力のある今のうちに、町内会館を整備すべきと思うが。

町長 公共施設の中で町内会館の位置づけは大事だ。慎重に議論をしていく。

笹本貢史



無電柱化計画について
うかがう

町長 視点のメインは災害リスク減だ

問 無電柱化計画についてうかがう。

町長 視点のメインは災害リスク減だ。引き続き「令和8年度県計画」に載せる取り組みを行う。

都市経済部長 予算にあたっては、複数年度にわたる可能性もある。

施設修繕

問 上山口会館の入口前タイル修繕は。

政策財政部長 原因が樹木か、土壌かを調査し、舗装することを含めて検討をしている。

ストロー問題

問 学校給食ストローの廃棄については。

教育部長 上山口小学校での生分解が進んでいない。他校に横展開する段階ではない。

問 ストロー製作費100万円は無駄では。

教育部長 学校指定の業者は、牛乳をストローレスで提供できない現状だ。学校給食会加入継続には、安定供給等のメリットがあるため、総合的に検討したい。

障害者福祉

問 障害者福祉については。

町長 早い段階で障害特性を把握するための診断の強化に向けた人材・環境面でのサポート体制を、国・県に要望している。

福祉部長 障害者差別解消法施行に伴う合理的配慮に関する民間事業者からの問い合わせは、現時点では受けていない。

高齢者福祉計画・介護保険事業計画

問 高齢者福祉計画・介護保険事業計画について。アンケートに回答可能な元気な方に偏った結果を計画に反映させるのは、不安だが。

福祉部長 元気なうちは制度を知らない方もいる。広報、対面等でもサービス提供につなげる対応をしっかりとる。



ホテル建設現場

者に指導をしている。住民に協議依頼を行っている。可能なら整備を行うよう指導をする。

問 住民からは訪問を受けていないとの文書と、その軒数が提出されているが、事業者からは何も資料が提出されていないが。

都市経済部長 状況を確認し、検討する。

問 町が道路幅について県土木と相談していたことを承知していたのか。

町長 町としては承知していない。都市計画法に基づく道路幅は県が判断する。

問 県土木には町との協議記録が残っている。

都市経済部長 すり合わせを行った。

問 6月に町民が出した公開質問状に、なぜ、何も答えないのか。

町長 経緯を踏まえて等しく公平に適切な対応を心がけている。

その他の質問 町の控訴提起、堀内会館再整備、サンピア訴訟、下山口土盛り問題



サッポロビールの保養所

問 閉鎖したサッポロビールの保養所の利用を、町として考えたかどうか。

都市経済部長 公共利用の可能性について尋ねられている。慎重に検討している。

問 人口が減少する20年、30年先の葉山の地域を想定した学校づくりをしてほしいが。

町長 地域の拠点として、学校が変容していく可能性を感じている。設計にあたって重要な視点としたい。

働き手不足の中での職員確保

問 働き手不足の中、公務員、特に町職員が不足が懸念されている。元気な葉山町をアピールし、職員の確保に努めて欲しいが。

町長 多くの職員と議論し、引き続いて働いてもらえる環境をつくっていききたい。

総務部長 葉山の町の魅力に、町職員として働く魅力をどう重ねるか、在宅勤務など働き方も含めて研究したい。採用パンフレットの工夫もしている。



上山口会館前の状況

金崎ひさ



花火大会実行委員会の
代表は町長だが

町長

委員会で合意している

問 葉山海岸花火大会実行委員会は町が補助金を出している団体なので、町長が実行委員会に補助金を渡すのは、おかしいと思うが。

町長 実行委員会で合意している。過去から監査への相談等、法的手続きも確認してきた。

開発許可

問 ホテル建設許可申請の際、県への提出資料に誤解を生じさせる表記があったが。

都市経済部長 事業者に遺憾だと伝えた。承知し、今後は気をつけるとのことだ。

問 情報公開で「道路幅に関して町は県土木と打ち合わせを行っていない」と、町長名で出ているが、県からの資料で町が相談に乗っていることが判明した。その真意は。

都市経済部長 話の確認のため、事業者、県、

町と3者で集まったと聞いている。

問 「道路拡幅協力の意思確認書」について町民本人は、確認されていないとのことだが。

都市経済部長 この人に対して、直接拡幅の話はなかったと解釈している。

問 特殊車両の逆走の件は、近隣の方の許可を取るよう指導したのか。

都市経済部長 そのとおりだ。

問 騒音被害という、協定書違反の対応は。

町長 環境課長から直に聞き、県も巻き込んで、しっかりと対応するよう指示をした。

堀内会館

問 堀内会館再整備検討委員会の設置は、会館を町の所有にしてからだと思うが。

町長 両面から進める。

問 移行に関する話し合いは、堀内会館運営委員会の誰と進めているのか。

政策財政部長 代表と話しているが、任意の団体なので、個人名は差し控える。



葉山の花火 主催は実行委員会

窪田美樹



合理的配慮の提供が
義務化されたので、
店舗等に助成を

福祉部長

まずは障害に対する正しい
理解を深めたい

問 障害者差別法改正により合理的配慮の提供が義務化された。店舗等に助成制度創設を。

福祉部長 手すり設置等、全国的な民間事業所助成は承知している。まずは障害に対する正しい理解を深め、周知、相談から入りたい。

問 義務化だけでなく、財政支援も必要では。

福祉部長 効果的だが、まずは周知に務める。障がい者雇用創出の場として、しおさい公園のお茶室や南郷公園で喫茶コーナーは。

教育部長 雇用創出の観点も検討すべきだが、施設全体どうあるかの段階でできていない。

問 軽度中等度難聴児補聴器購入費助成の年齢制限撤廃で加齢性難聴者も対象になるが。

福祉部長 医療機関の早期受診周知に努める。

高齢者世帯に火災警報器設置

問 全国的に火災被害者は高齢者が多数なので、緊急通報システムに火災警報器の機能を。

福祉部長 高額になる。代替策を研究したい。

問 火災時直接通報や、選択制の自治体もある。逃げ遅れ防止にも警報器のみ設置助成は。

消防長 火災件数は近隣の状況でも高齢者宅は多い。高齢者宅こそ設置してほしい。

問 ショートステイ長期利用の場合、介護保険制度改正で更に施設側の収入は減算される。利用者側は利用しなければならぬ事情がある。

福祉部長 特養等の状況を鑑み、町は減算分補填を。利用事情は認識している。ケアマネ等関係者と事例研究し適正化につなげたい。

問 介護事業所の紙おむつ処分費の助成は。

福祉部長 入所系サービスのおむつ代は保険給付対象。介護報酬に基づいて運用している。

問 避難所にもなる体育館、学校再編とは別にエアコン設置やシムルター等熱中症対策を。

福祉部長 暑さをしのぐ場所3カ所設置した。



高齢者世帯に火災警報器設置補助を
(大磯町ホームページより)

待寺真司



旧消防第4分団
跡地前交差点の改良は

都市経済部長

解体整備後、葉山警察署
交通課に相談した

問 以前指摘した旧消防第4分団跡地前交差点及び大変危険な横断歩道改善の進捗状況は。

都市経済部長 警察判断となるので解体整備後、葉山警察署交通課に相談した。まだ回答は得てないが、県土木事務所とも歩道の切り下げや、点字ブロックの移設等協議が必要だ。

問 最も危険と思われる旧役場前の下り線バス停改善に向け、一歩進めて欲しいが状況は。

都市経済部長 神奈川県に整備の要望を行っている。今後周辺の土地利用の際には、まちづくり条例による協議を行っていききたい。

大規模自然災害対策

問 家庭用のソーラーパネル付き電源に対し補助制度を設け、自助の動機づけとしては。

総務部長 まだ検討していないが、家庭より

自主防災組織に備えてもらう手段を検討中だ。

第五次葉山町総合計画策定も最終局面を迎えている。冒頭に「発刊に向けて」と町長の文章が入るのが通例だが「町に対する想い」とか「2040年への私の考え」など、将来ビジョンや町民へのメッセージを発信しては。

町長 政治的ではなく行政的なコメントを書いてきたが、審議会の意見も同じ方向であると肌で感じているし、年齢に応じた様々なコメントも入っている。そのような感覚で決して政治的ではなく、私の想いも書きたいと思う。ご指摘ありがとうございます。

問 教育総合プランに代わる教育ビジョンの策定に際し、教育長のメッセージも発信しては。

教育長 葉山の教育が何を目指していくのか、だいたい伝わってきた「葉校をつくらう！」という部分を併せて6つの考え方を整理する。



危険な交差点及び横断歩道

土佐洋子

クリーンセンター 再整備工事の進捗は

町長
生ごみ資源化処理施設は、
工事が中断している状況だ

問 クリーンセンター再整備工事が遅れているだけではなく、ストップしているところを知り大変衝撃を受けたが、進捗と対応は。

町長 生ごみ資源化処理施設は、9月10日以降工事が中断している。令和7年2月末までに工事を着実に進めるよう、要請している。

問 完成まで逆算して工事着工のリミットは。

町長 11月には何らかの形で着工しなければ物理的に厳しい。国・県の交付金が延長など、柔軟に対応してもらえないかわからない。

問 堆肥を利用できないと、ごみになるが。

町長 年間で葉山町約150tの堆肥を、無償で町民が南郷上ノ山公園等から持ち帰り、農家にはトラックで畑への配送にも対応したい。

姉妹都市・友好都市のあり方

問 市民・町民交流を進めるべきではないか。

町長 行政各分野の職員による交流を深め、情報や課題の共有を通じ連携を強化したい。

問 葉山町制100周年PR大使の今後の活躍は。

町長 任期終了後に向けて、ミュージーの意向を伺いながら、協力関係を議論したい。

命を救う消防・救急活動

問 マイナ保険証を活用しての救急活動は。

消防長 実証実験に県内では、8市1町が参加している。全国平均利用率は83%で、本町では2カ月間で21.2%だ。

問 マイナ救急で救急搬送が早くなるのか。

消防長 医療機関に引き継ぐときに、治療、診察に入るまでの総体的な時間が短くなる。

住宅確保要配慮者の居住支援

問 町営住宅等の公営住宅の拡充は。

町長 現有施設の適切な維持管理に努める。

問 居住に貢献した貸主への税制優遇は。

町長 法改正や他自治体の動向を注視したい。



御用邸友好都市のキャラクターたち
(左からベルリン、ミュージー、キュービー)

議会主催

ワークショップの お知らせ

まちづくりに、皆さんのご意見をお聞かせください。

日時 令和7年2月2日(日) 10時～12時

場所 教育総合センター会議室(町役場横)

※お車でお越しの方は役場駐車場をご利用ください。

①ごみ

テーマ

③交通

②子育て

④公共施設

申し込みは不要ですので、
お気軽に会場へお越しください。

台風の影響により、中止となった日程の振替開催です。

●6月20日付で町を被告とする訴状が、土地所有者から横浜地方裁判所横須賀支部に提出されました。町としては、9月24日に予定されている弁論準備の期日に向けて準備を進めています。

●7月6日深夜から7日にかけて、役場庁舎正面玄関付近において何者かがおこした火により庁舎施設の一部が損傷、損害を受け、事件が発生しました。警察に被害届を提出し、捜査の行方を注視していましたが、7月25日の警察発表によれば、被疑者を逮捕したとのこと、今後、役場庁舎の警備を強化していきます。

●町制施行100周年記念事業の一環として、原動機付き自転車のオリジナルナンバープレート一枚数限定で交付します。

教育民生常任委員会 視察報告

委員長 石岡実成



視察の概要及び
各委員の所感を、
こちらをご覧ください ⇒



◆7月3日から5日までの3日間

1. 社会福祉法人 佛子園(石川県白山市)
「高齢」「障害」「児童」すべて「ごちゃまぜのまちづくり」の実践について

地域住民が高齢者や障害者と自然な形で関わりを持ち、孤立しないコミュニティを育むことが出来るようにプログラム化され、施設に自由に入出りできる地域密着型の福祉を実現しています。

2. 三郷町立三郷中学校(奈良県三郷町)
町立三郷中学校の校舎建て替えについて
～生徒の掲げたコンセプトを生かした設計及び複合施設～

平成31年に新築された校舎は、在校生へのアンケートで出た意見の「みんなが使いやすい」「明るく開放的で」且つ「安全で安心」をコンセプトに設計されています。この学校施設の着目点は、消防団詰所や福祉避難所の併設、何より、学校を地域コミュニティの拠点とした設計が推奨されたことです。



※三郷町立三郷中学校の外観

3. 大阪市役所(大阪府大阪市)
大阪市のインクルーシブ教育の取り組みについて

幼稚園52園、小学校281校、中学校127校、義務教育学校1校、計461校(R5.5.1現在)にも及び大阪府が所管する教育施設全体で半世紀前から先進的なインクルーシブ教育が行われており、大阪府ではもはや当たり前の常識、文化になっていました。



4. 茨木市役所(大阪府茨木市)
障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例について

地域社会全体で障害者と健常者が共に支え合いながら生活することを目指した画期的な取り組みで、条例の制定云々だけでなく、町全体がこうした機運を当たり前のよう醸し出している雰囲気が容易に分かるような施策や事業の取り組みを当町にも努めて作ってほしいと思います。



合理的配慮の提供に係る事業者
に配付しているステッカー

葉山町議会主催 町制施行 100 周年記念 特別講演会

講師：“TBS テレビひるおび”でおなじみの気象予報士

もり あきら

森 朗 氏 講演会



※お申込み不要

無料



CHECK

『気候変動と 100 年後の葉山町』

日程：11月23日（土・祝）

時間：14 時～ 16 時 30 分（13:30 開場）

1 部 / 基調講演会（14:10～15:10）

2 部 / クロストーク座談会

* 森朗氏を囲んでの座談会!!（15:25～16:10）

場所：葉山町福祉文化会館〔ホール〕

* 質疑・応答 / 約 20 分 16:30 終了



葉山の森保全センター（HFC）
代表理事 藤本 嶺 氏



漁師
長久保 晶 氏



石井ファーム
代表 石井 裕一 氏



葉山町長
山梨 崇仁 氏



葉山町議会
議長 伊東 圭介

各分野の
現状や懸念点
今後の対応策
など…
クロストーク
します!!

次回定例会は…

11/27-12/16 の予定です。

議案審議	一般質問	各常任委員会
11/27（水）	12/11（水）	11/28（木）
12/13（金）	12/12（木）	11/29（金）
	12/13（金）	12/2（月）
各特別委員会	議会運営委員会	
12/3（火）	12/5（木）	
12/4（水）		

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。
また、一般質問は質問者数によって日程が変動します。
詳しくは議会ホームページにてご確認ください。

議会のライブ・録画中継はスマートフォン、
タブレットでも視聴できます。



視聴は
こちら



議会ホームページのトップの
Googleカレンダーから、
最新の議会日程が確認できます。



録音版議会だより ♪

議会だよりは音声データを作成
しています。ご希望の方は議会
事務局までご連絡ください。



編集後記

10月20日葉山町防災訓練が、
一色小学校校庭で開催されま
した。

表紙の写真は土のう作り、
初期消火やジャッキで家具を
持ち上げ挟まれた人を救い出
す救助体験の様子などです。

自衛隊、警察の特殊車両の
試乗、移動トイレ展示、煙に
囲まれる体験なども。

また、体育館では避難生活
体験もあり、大人も子どもも
たくさんの方が参加されて
いました。

地震や災害に遭遇した時に
どの様に自分や家族を守り、
人の役に立っているのか。

頭では分かっているけど、い
ざその場ではなかなか動けな
いものです。

こうした体験型の防災訓練
が町民皆様のお役に立てれば
幸いです。

10月30日 笠原俊一 記

議長 伊東 圭介 議会広報常任委員会

荒井 直彦 窪田 美樹
三浦 大輝 星 加代子
石岡 実成 山田 由美
笠原 俊一